

災害対策本部の空間構成

京都大学防災研究所
牧 紀男

**どうすれば、ICSの考え方に基づ
く危機対応が可能になるのか**

**災害対策本部のレイアウトにより可
能になる**

危機対応センター のあるべき機能について

- 災害対策本部と**災害対応センター**
- 効率的・効果的に「危機対応」を行う場所
- 「危機対応」とは
新しい現実を効率的に把握し、
関係機関間で情報を共有し、
統一された状況認識(COP)に基づき適切な
意志決定を行う。

現実？

The image shows a screenshot of a Netscape browser window displaying the California Response Information Management System (RIMS) website. The browser title bar reads "Ca RIMS Welcome - Netscape" and the menu bar includes "File", "Edit", "View", "Go", "Communicator", and "Help". The main content area features the text "Response Information Management System" in purple, the RIMS logo, and links for "RIMS Access, Technical Support, & Lost Password" and "to view the Latest RIMS Enhancements". On the right side, there are sections for "SEMS Reports Standardized Emergency Management System" and "MRT Mission Request Tasking" with an "Archives" button. At the bottom, there are buttons for "HazMat Spill Reports", "Current Weather", "California Levees", and "Road Conditions".

Overlaid on the screenshot is a large white box containing Japanese text. On the left side of this box, the text "現実把握" (Reality Grasp) and "Reality" is written in blue. A large blue bracket on the right side of this text points to the central content of the box. The central content consists of two pairs of text: "状況把握" (Situation Grasp) and "SEMS" at the top, and "資源把握" (Resource Grasp) and "MRT" at the bottom, all in blue. This indicates that the RIMS system is used for grasping the current situation and resources through SEMS and MRT.

現実把握
Reality

状況把握
SEMS

資源把握
MRT

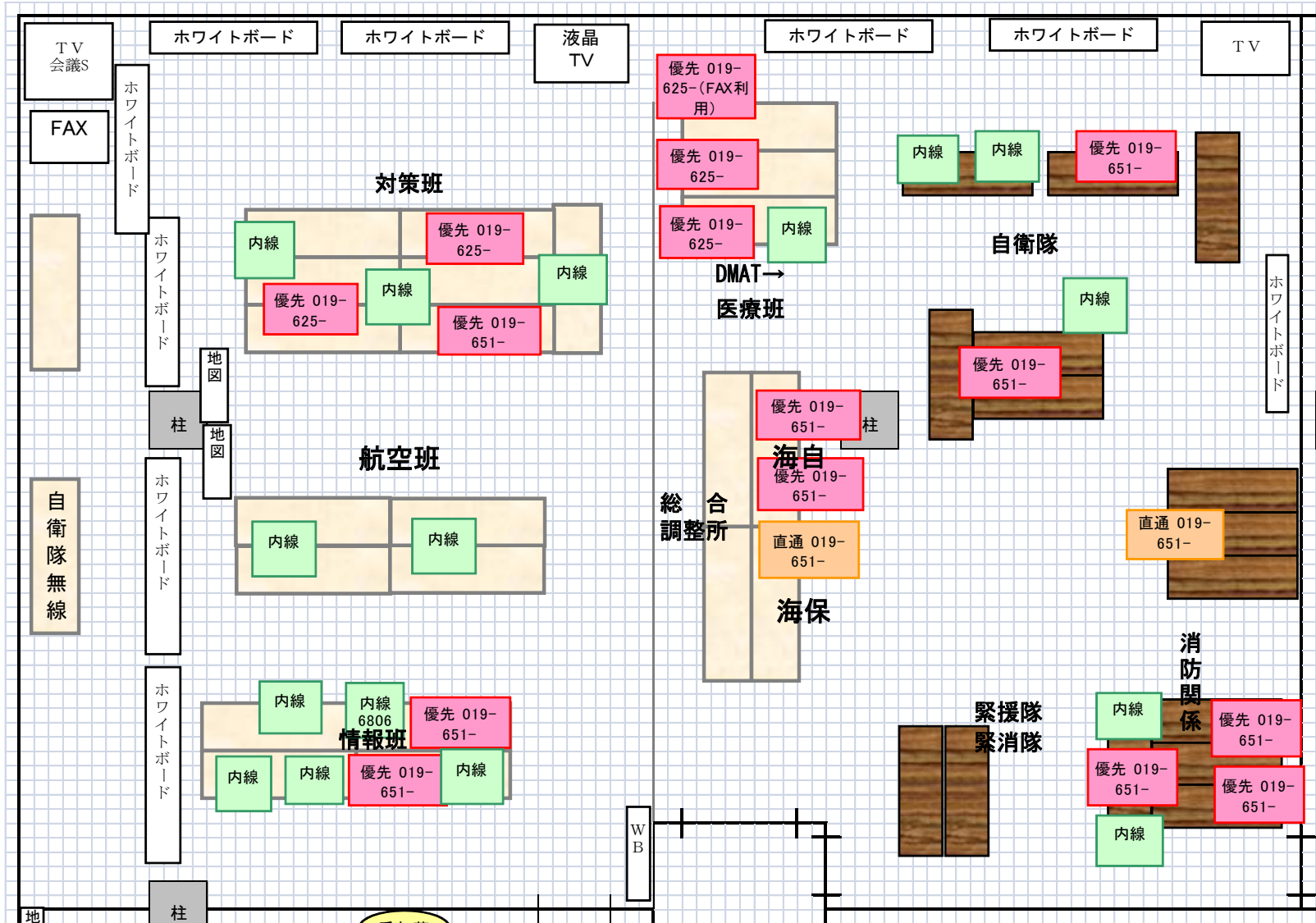
HazMat Spill Reports

Current Weather

California Levees

Road Conditions

緊急期





2011/3/21

福島県の事例

自然災害＋原発災害

災害対策本部(自治会館に設置)



原子力緊急災害対策本部

原子力災害と自然災害の2本建ての 災害対応

原子力

原子力緊急災害対
策現地本部

国職員170人

自然災害

緊急災害対
策本部現地
連絡室

福島県災害対策本
部

内閣総理大臣は、原子力緊急事態宣言を発出すると同時に、自らが本部長となる原子力災害対策本部を内閣府に設置する。

オフサイトセンター

原子力緊急時に、国、自治体、事業者が一堂に会する施設で、原子力施設立地地点の近くにある。

オフサイトセンター



マスメディア

災害対策本部室

本部

総括班

物資

活動支援

広報

救援

住民支援班

警察

自衛隊

消防

東京電力







アラメダ郡(Alameda County)

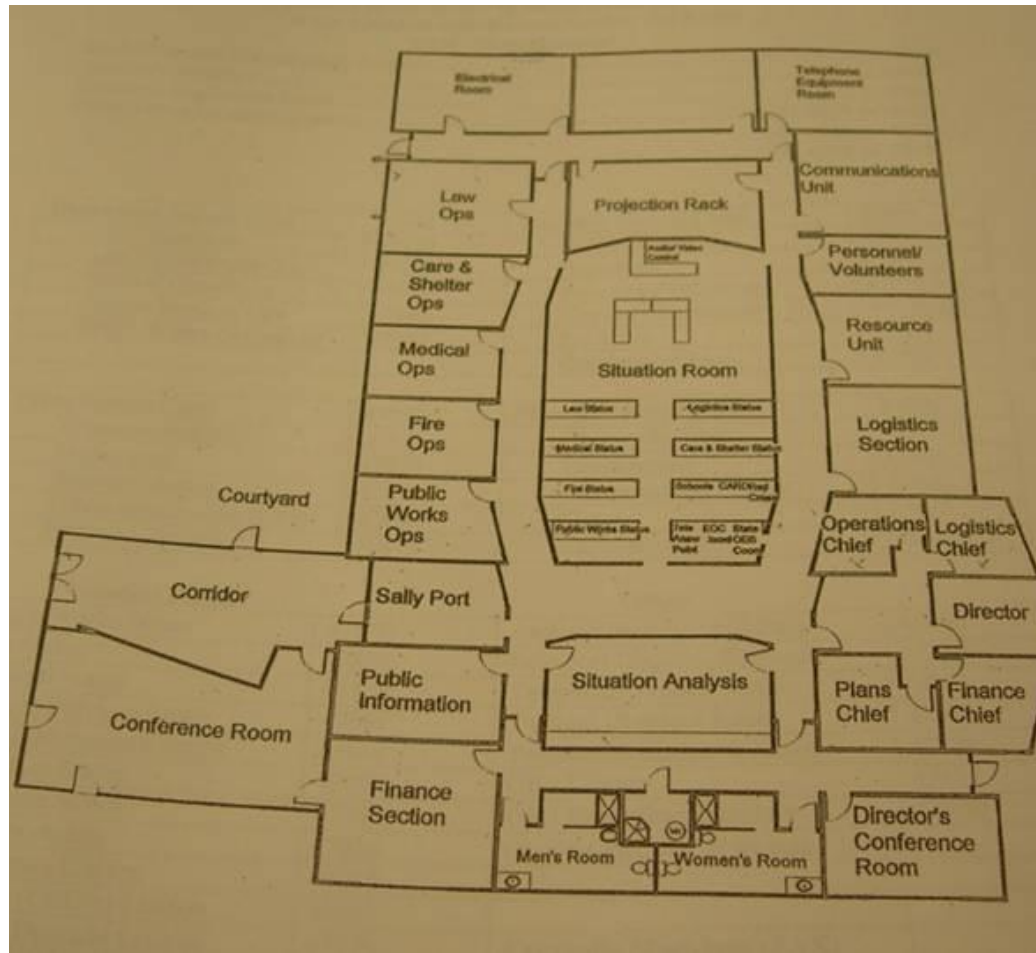


- **カリフォルニア州にある郡**
- **人口:1,443,741人(2000年)**
- **郡庁:オークランド(Oakland)**

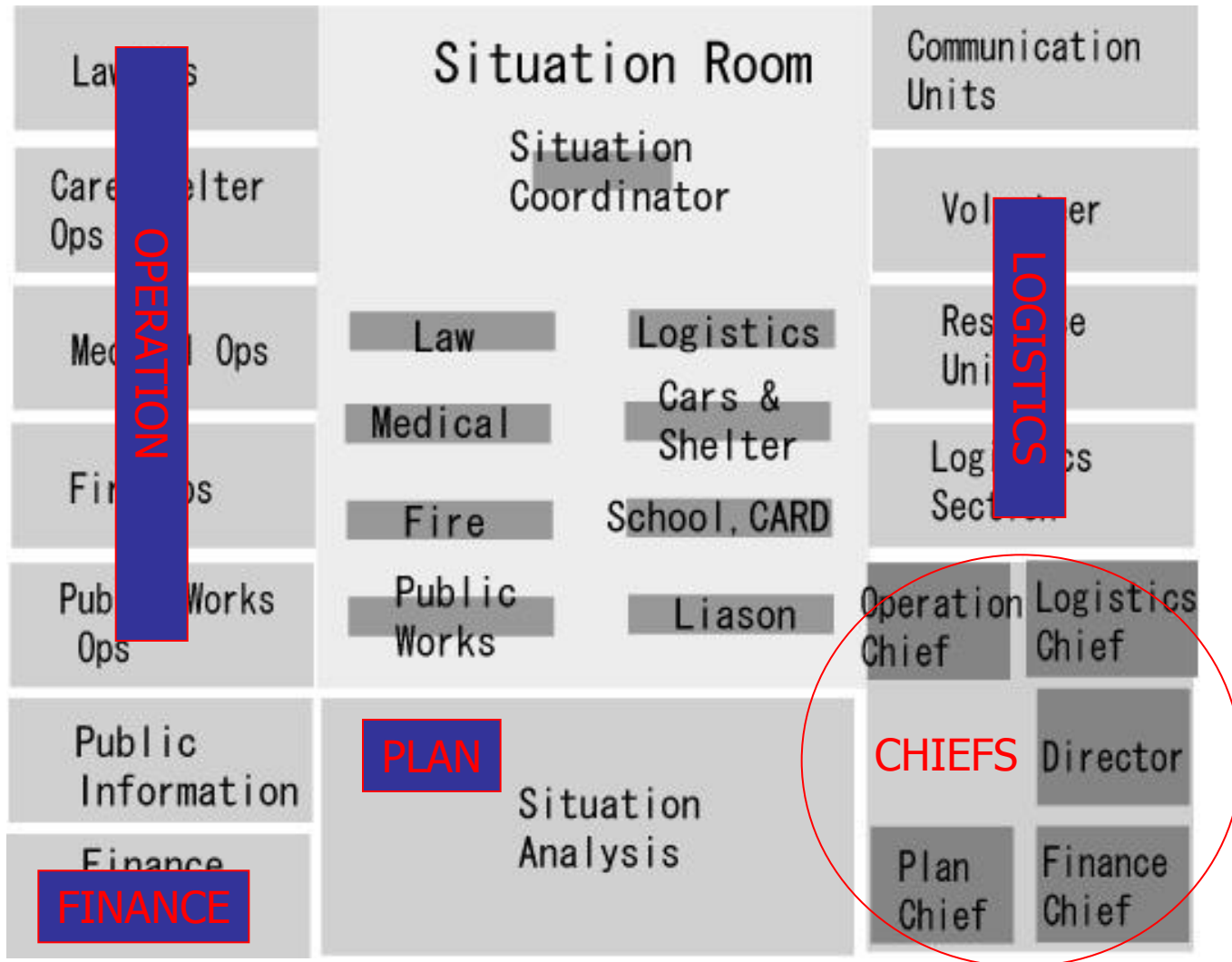
アラメダ郡のEOC



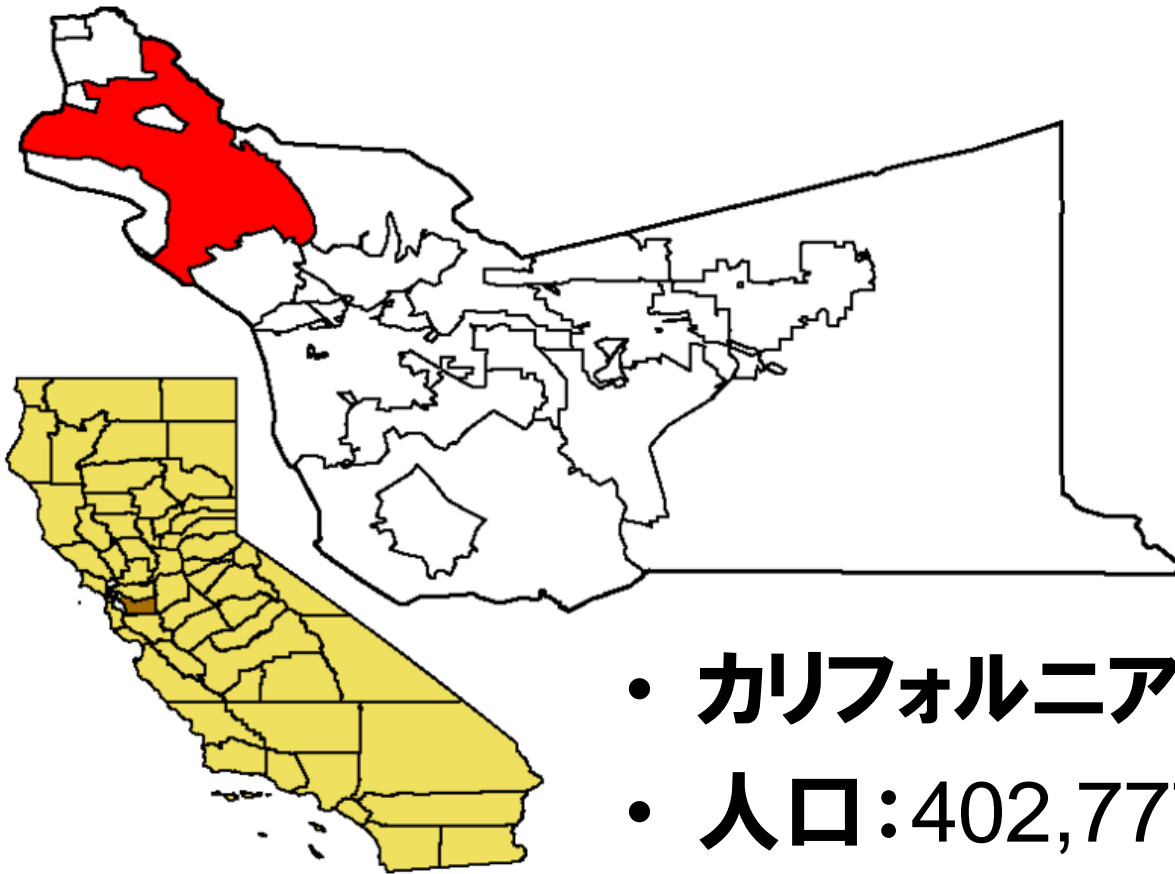
アラメダ郡 EOC



EOCのレイアウト



オークランド市 (City of Oakland)



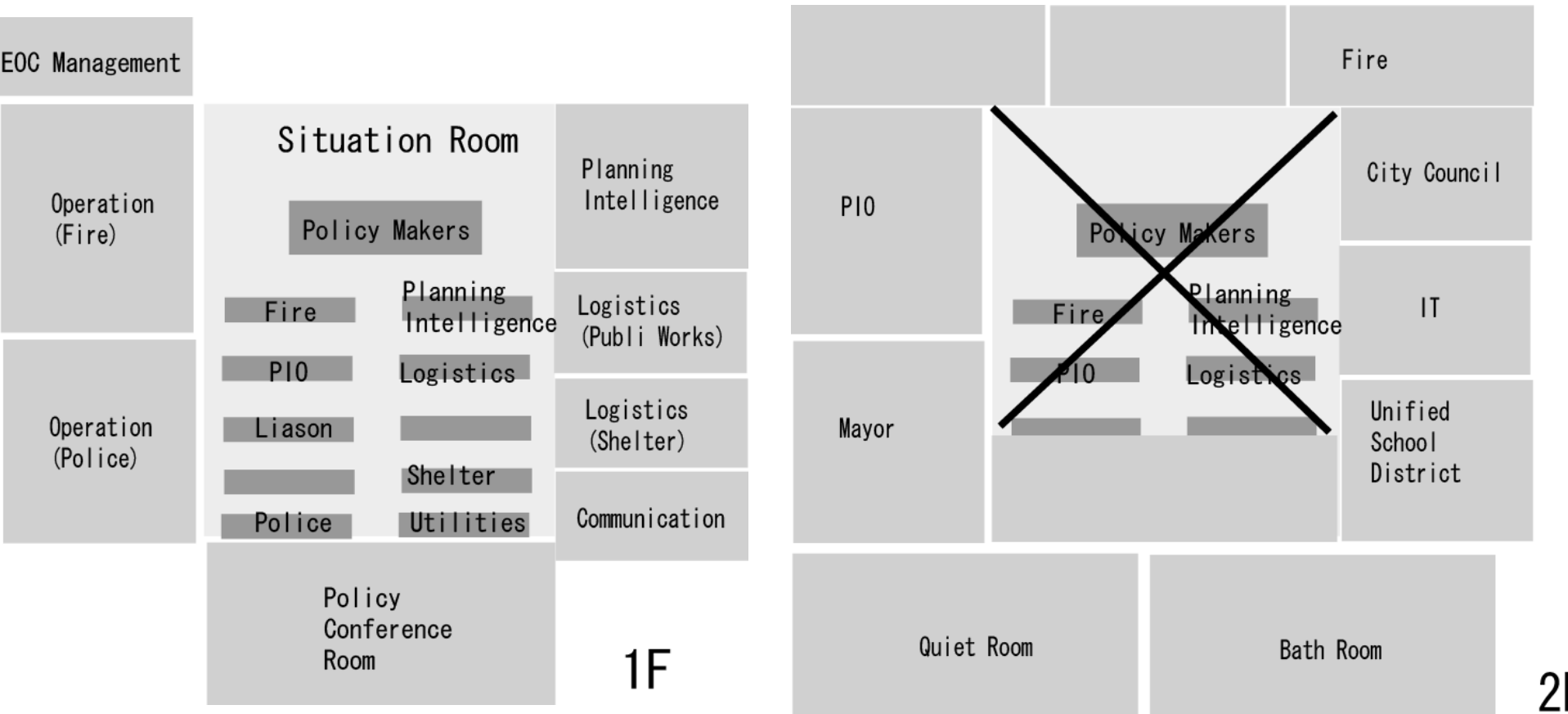
- カリフォルニア州アラメダ郡
- 人口: 402,777人 (2002年)

1007



オークランド市のEOC

オークランドEOC



カリフォルニア州(California CA)

- 州知事:アーノルド・シュワルツェネッガー
- 人口:35,893,799人(2004年)
- 州都:サクラメント (Sacramento)





カリフォルニア州のEOC

日本の事例

- **消防庁(本部のレイアウト)**
- **国の現地災害対策本部**
- **兵庫県**
- **新潟県(総合的な対応)中越地震対応**

消防庁EOC(平成18)

広域応援班

航空

陸上

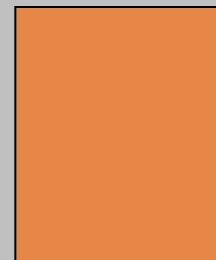
長官・参謀班

特命班・
官邸連絡班

情報整理班

広報班

情報集約班



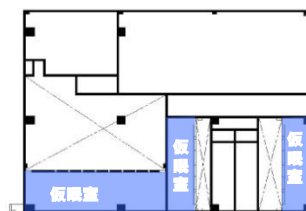
国の現地対策本部(有明)





1階平面図

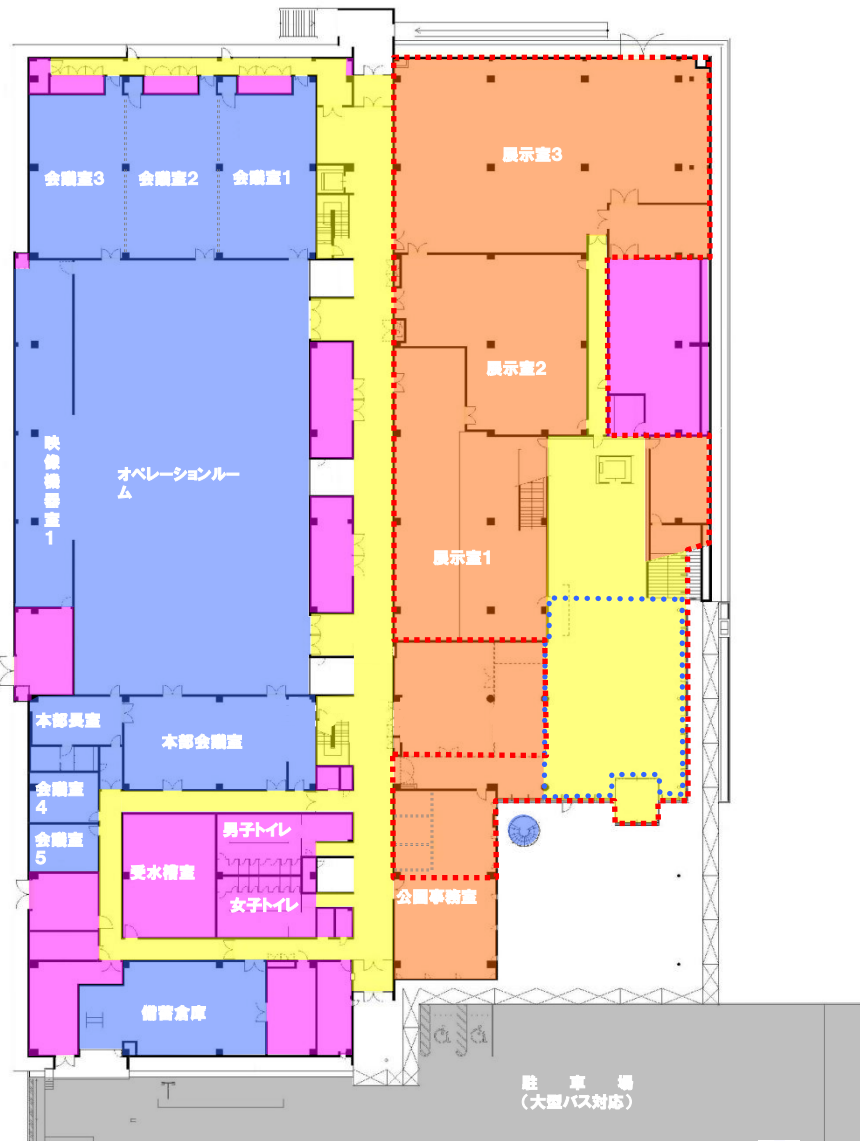
ヘリポート
↑



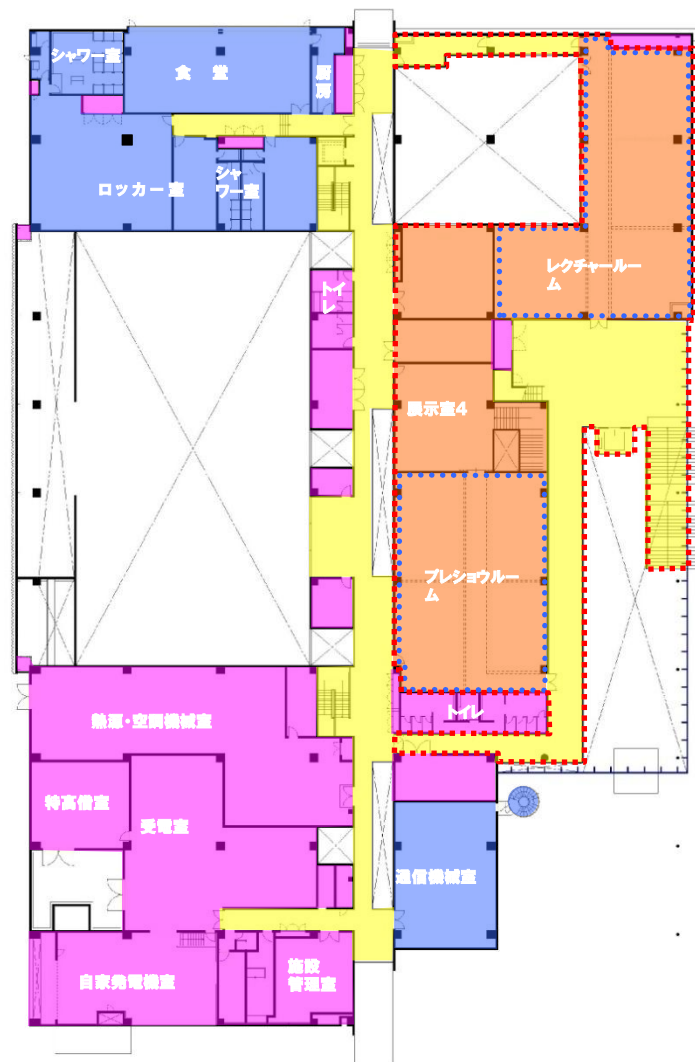
- 公設施設エリア
- 防災施設エリア
- 共用エリア
- 設備機械エリア
- 防災時防災用に転用
休験室・資料室



←
国道357号



→
癌研有明病院

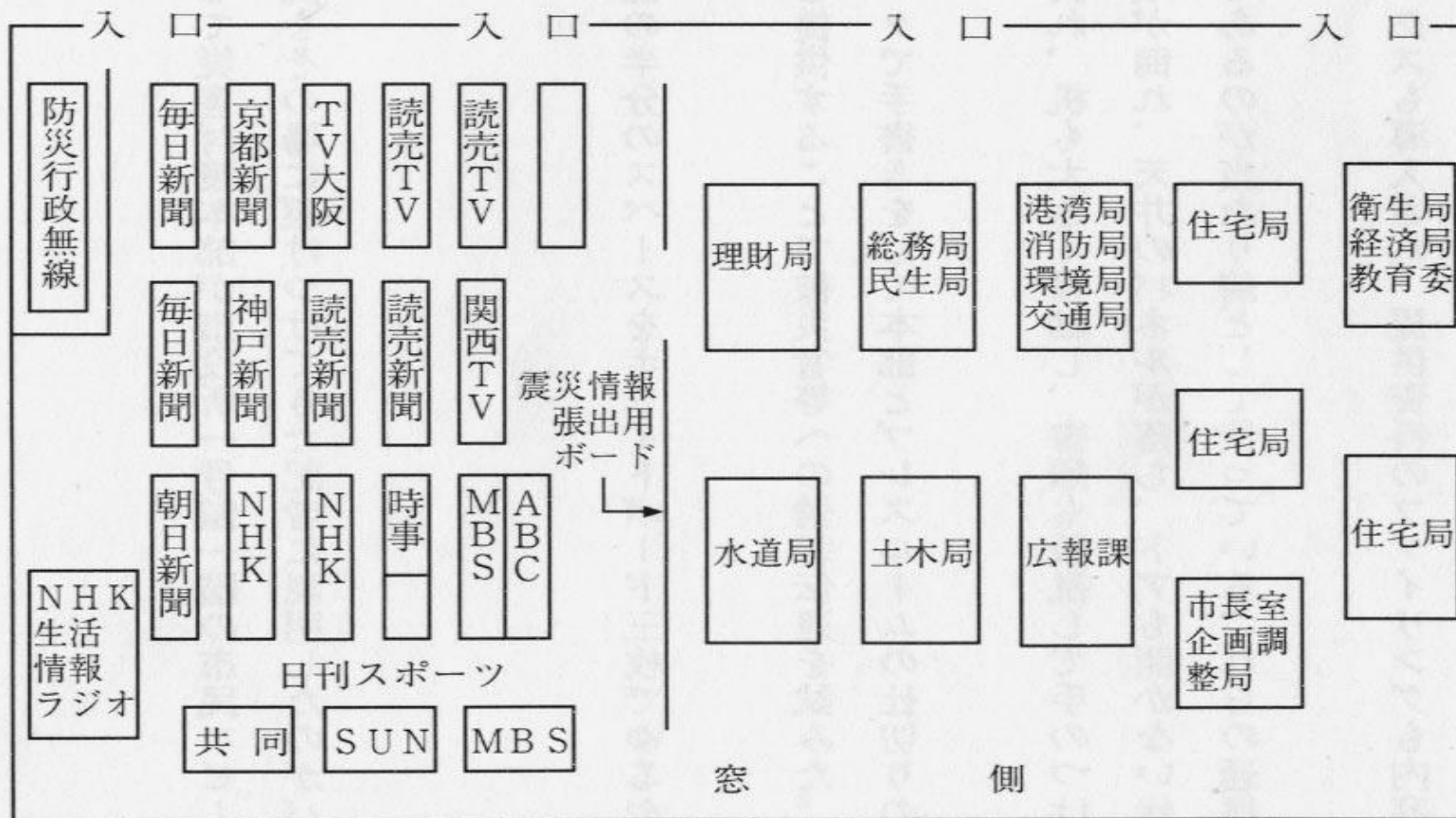


↓
ゆりかもめ 1

2階平面図

マスコミと隣り合わせの災害対策本部

神戸市災害対策本部配置図（平成7年1月20日現在）



あの時の神戸市役所8階災対本部



10.02.15

緊急時における情報発信のあ **神戸市広報課撮影**

①マスコミへの場所提供と情報提供(1月17日から)



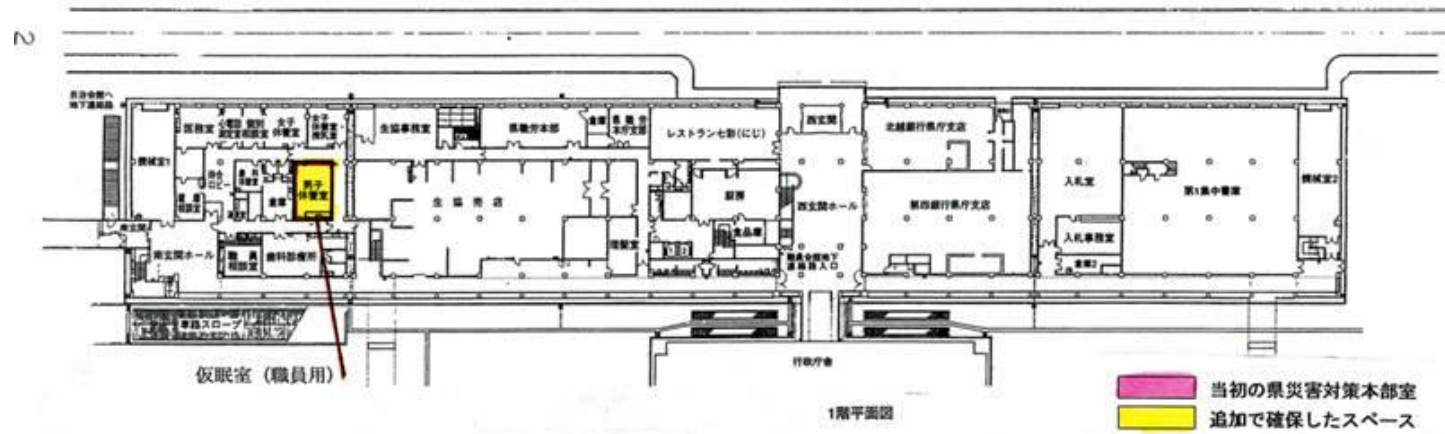
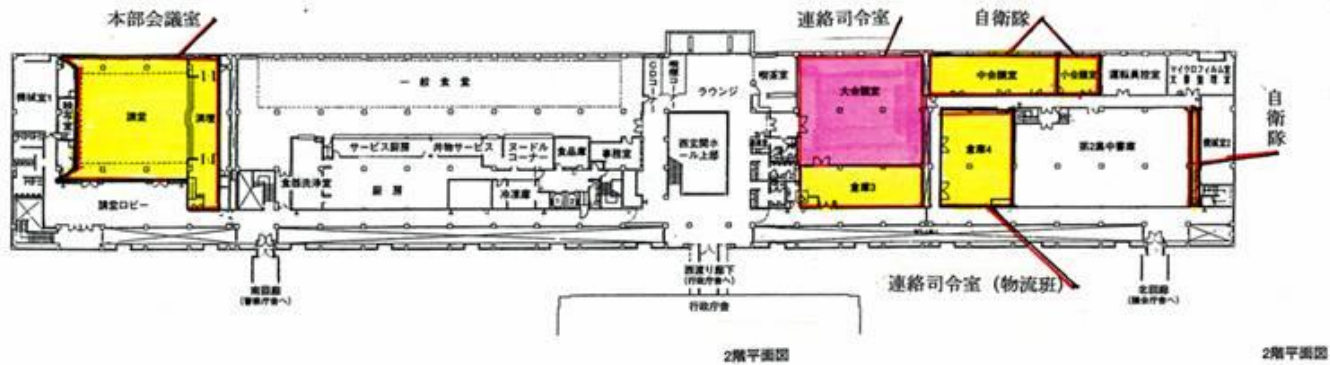
**災害対策本部の一角に設置されたNHKの生活情報
ラジオ(1月20日から)**



新潟県災害対策本部(県庁)

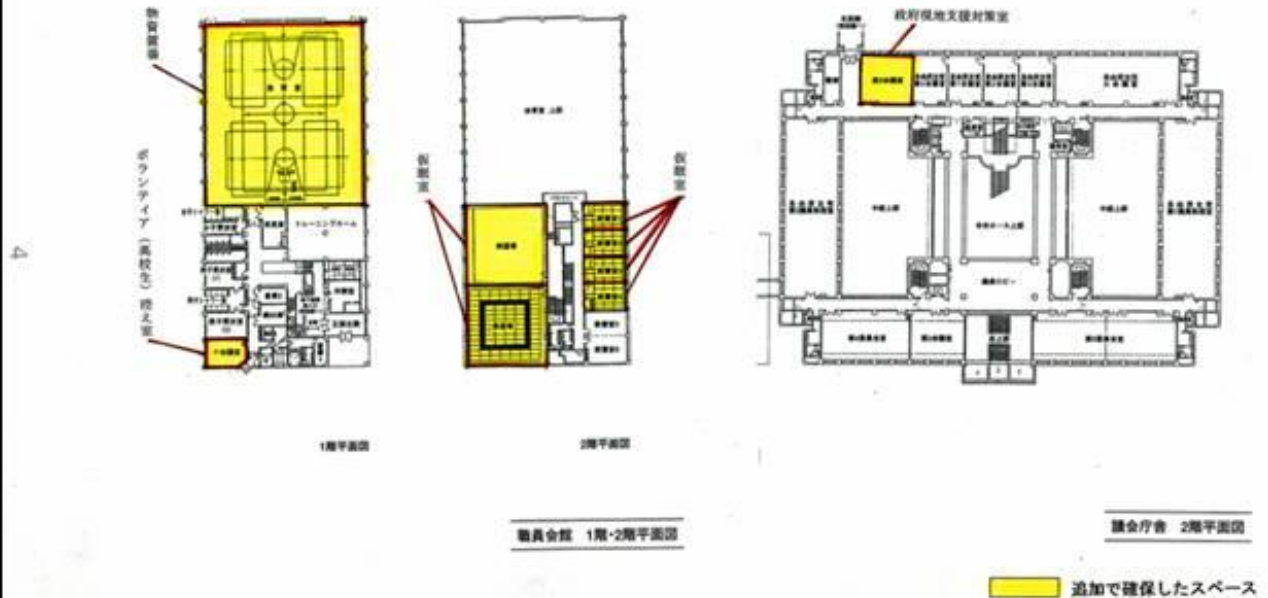
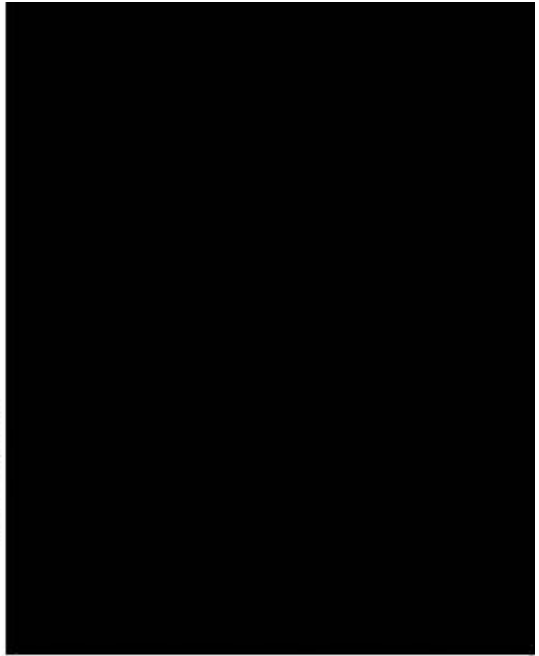
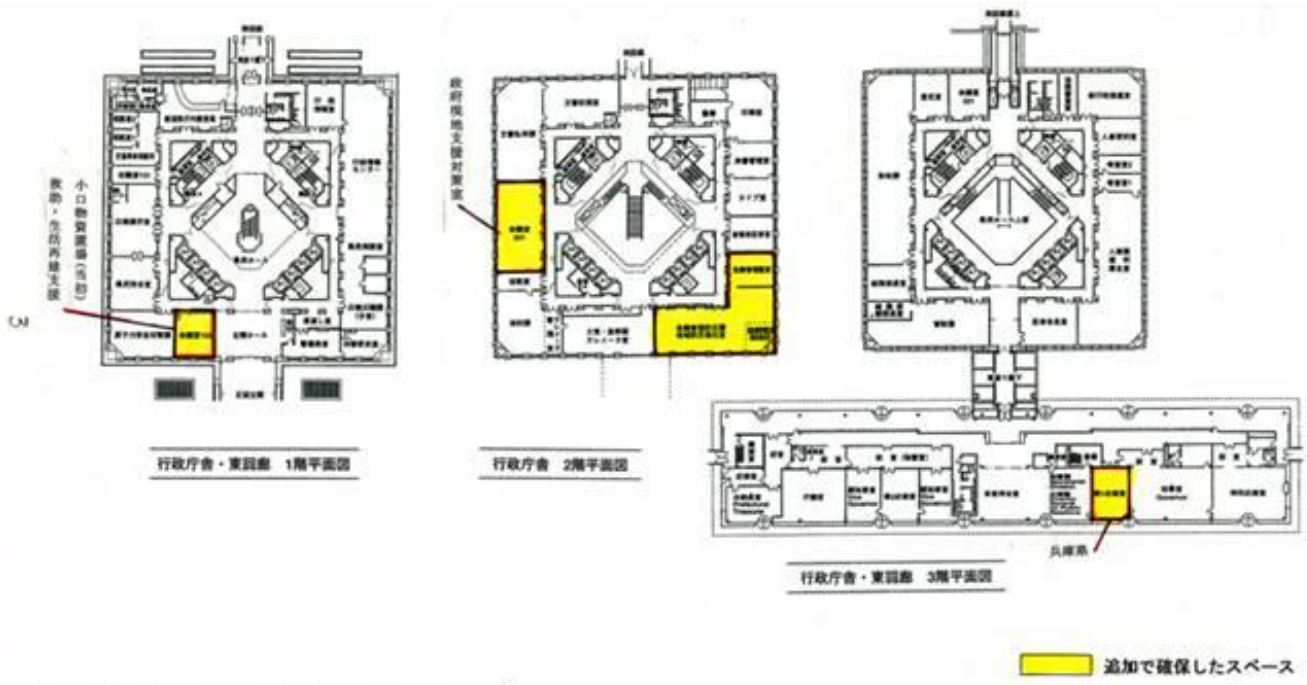


新潟県(中越地震時) 広い危機対応センター

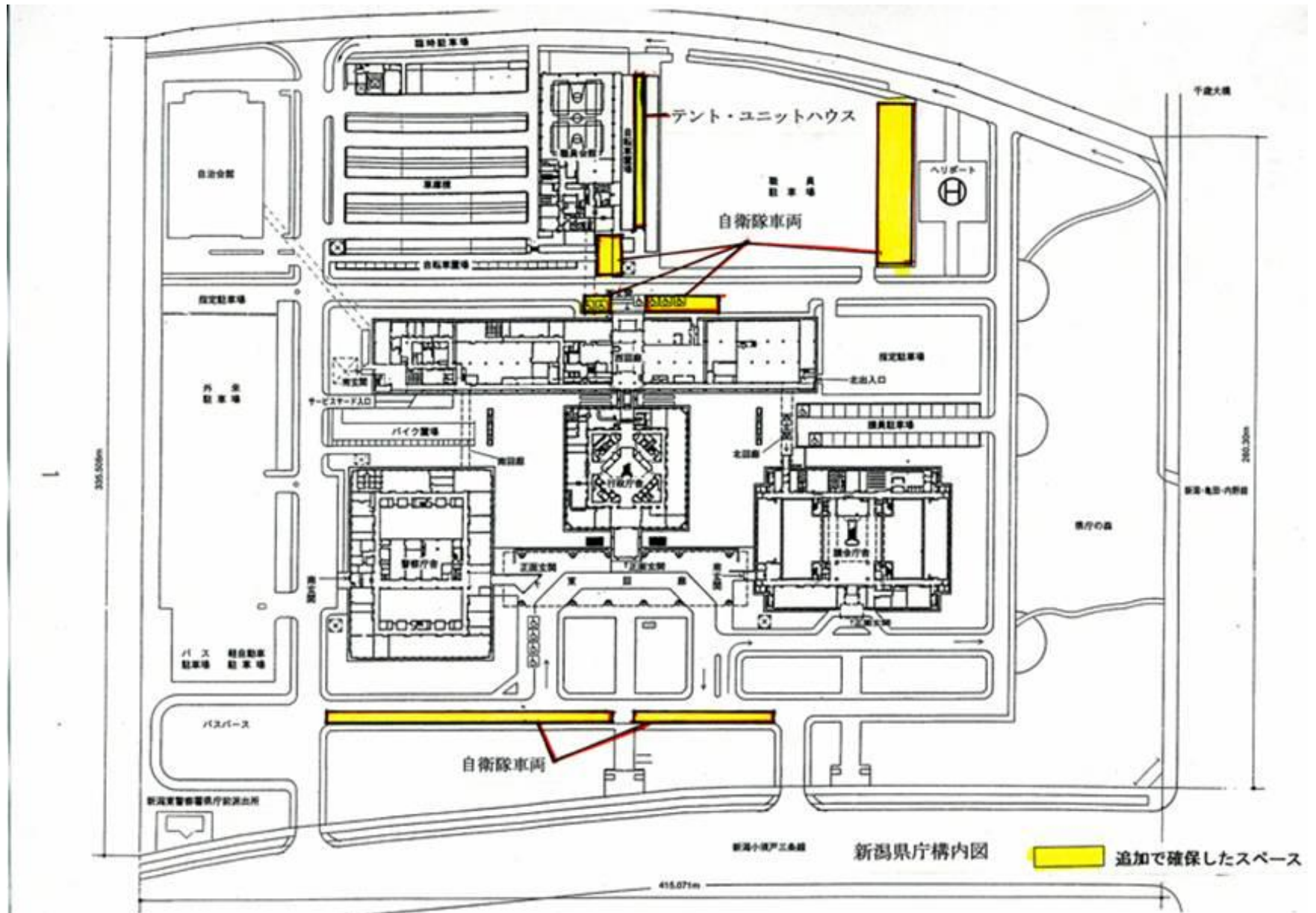


西回廊 1階・2階平面図

新潟県(中越地震時) たくさんの小部屋



新潟県(中越地震時) 外部空間の利用





市町村の事例

2004年新潟県中越地震

小千谷市

2004年7月豪雨

三条市



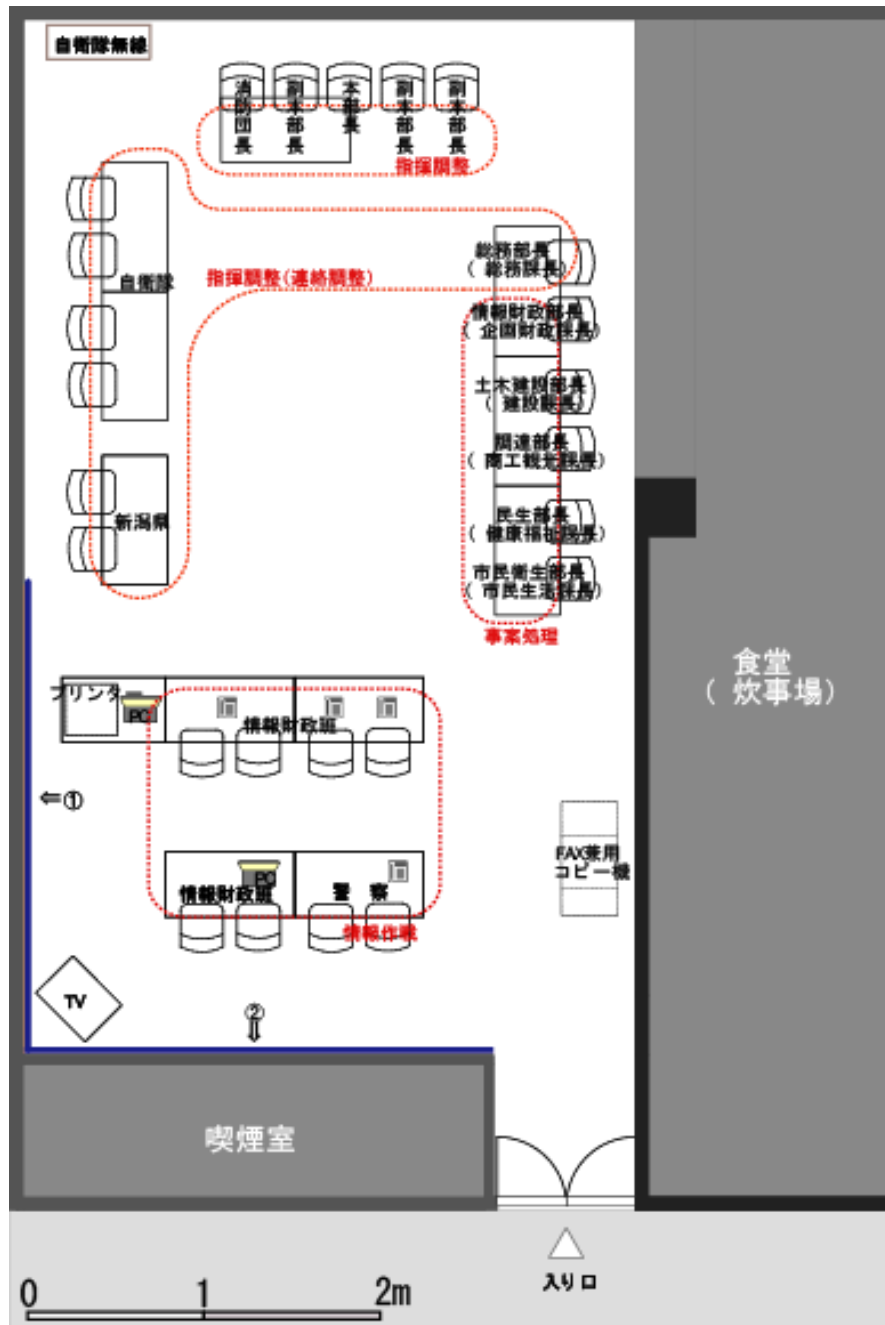
2004年10月25日 15:30頃の小千谷市災害対策本部に張り出している情報



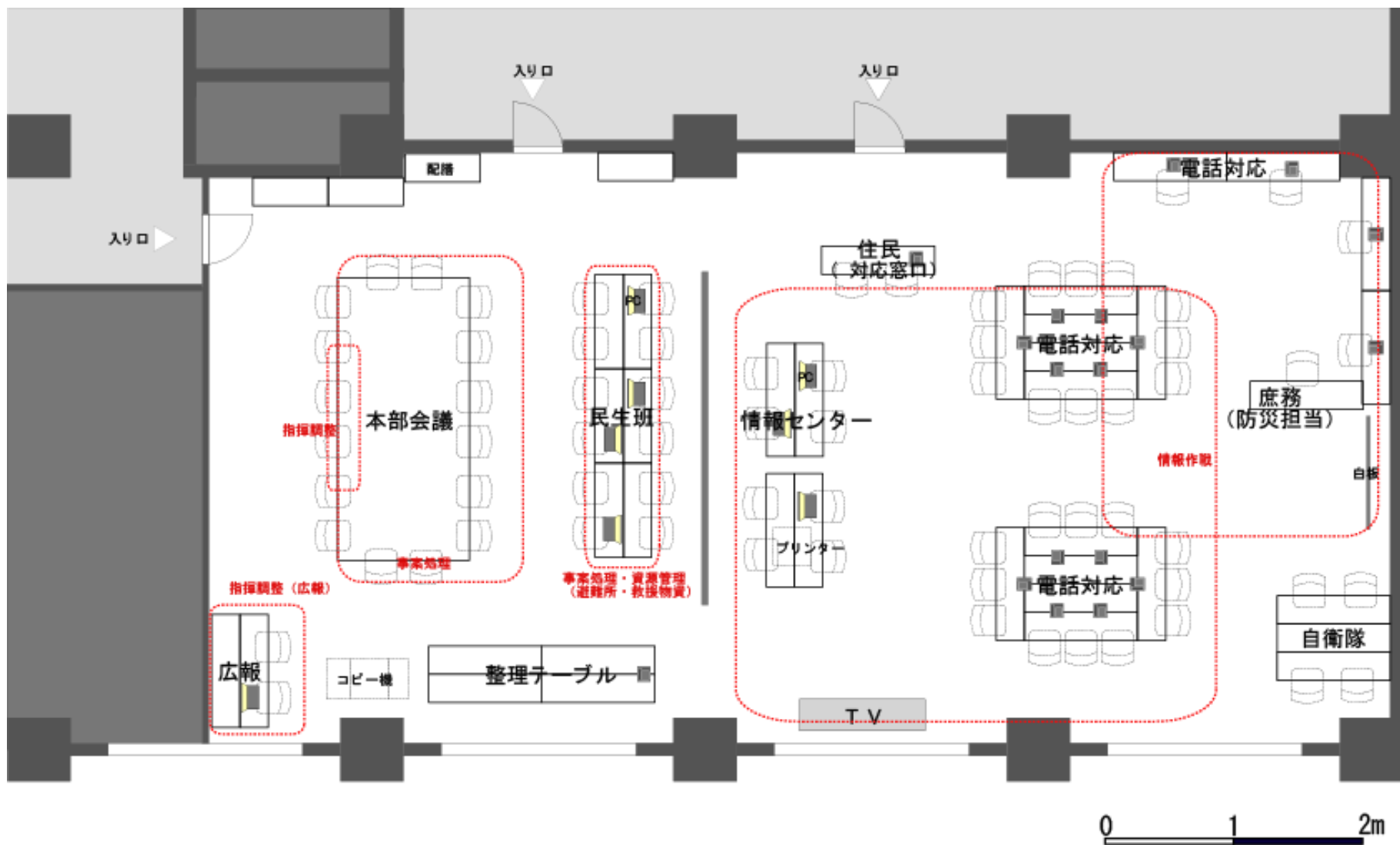
2004年10月25日 15:30頃の小千谷市災害対策本部



2004年10月25日 15:30頃の小千谷市災害対策本部に張り出している情報



新潟中越地震時 小千谷市災害対策本部 配置

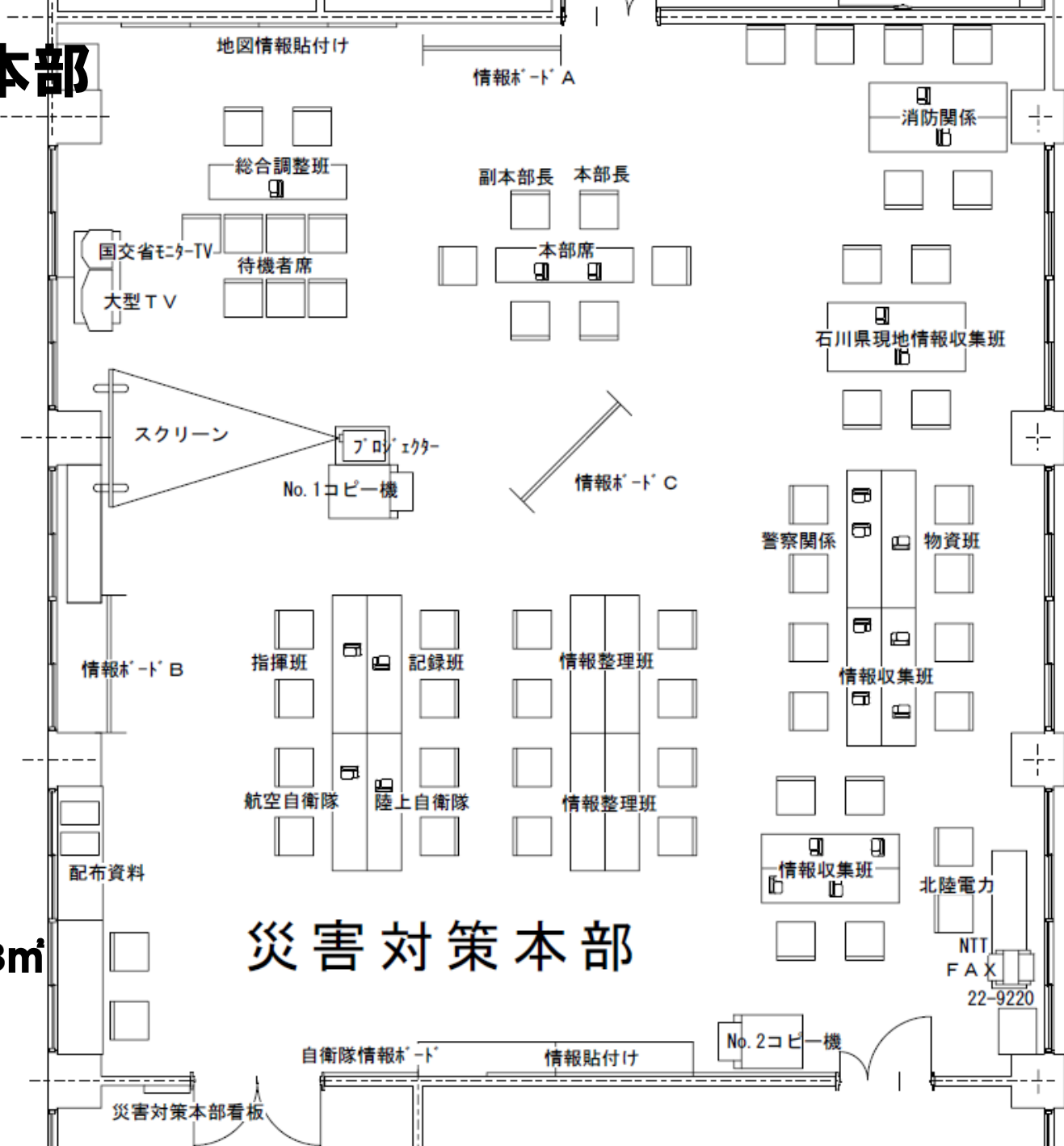


7. 13水害時の三条市の災害対策本部のレイアウト



三条市の災害対策本部のレイアウト(経験を踏まえて改良)

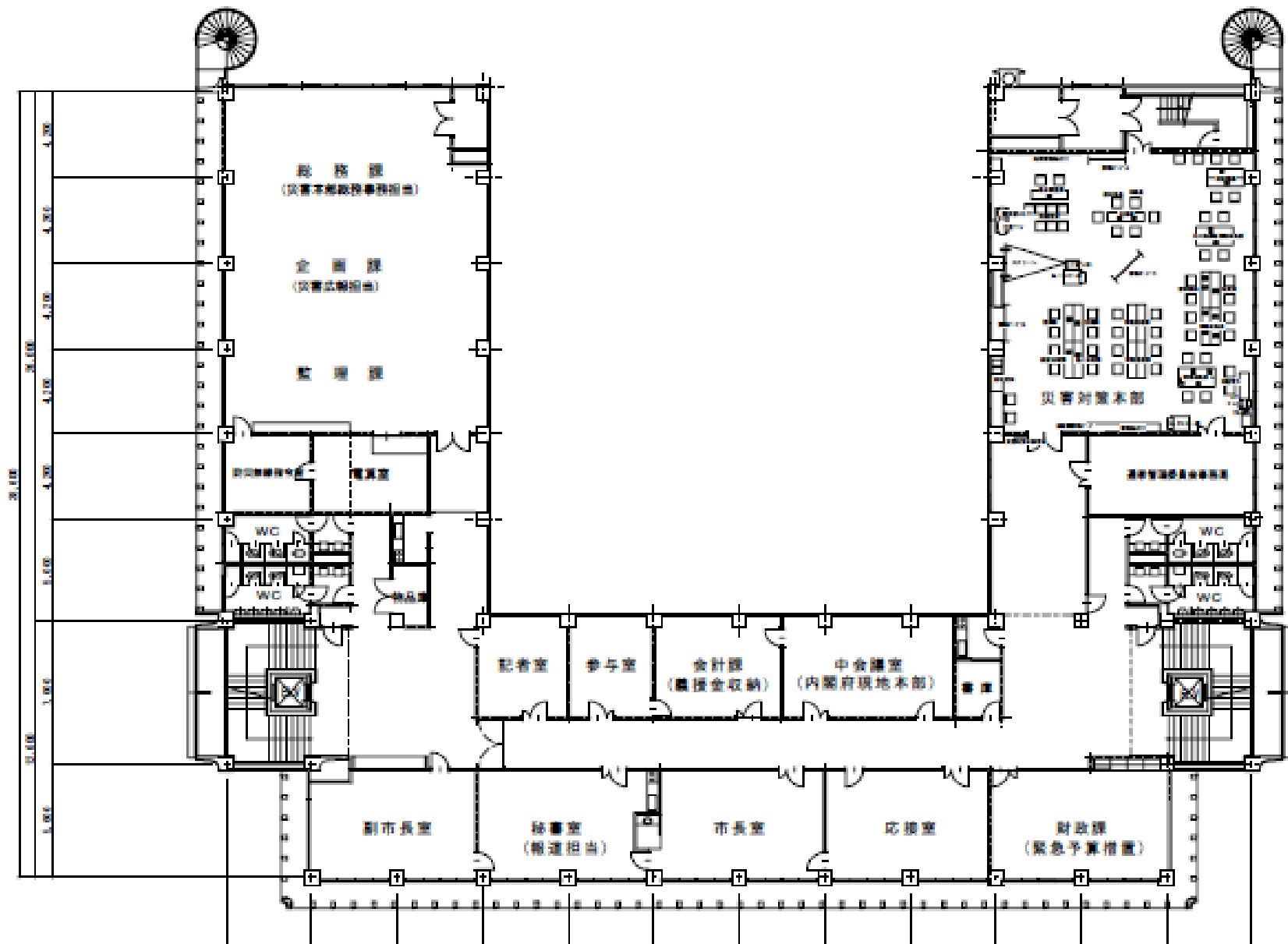
輪島市災害対策本部



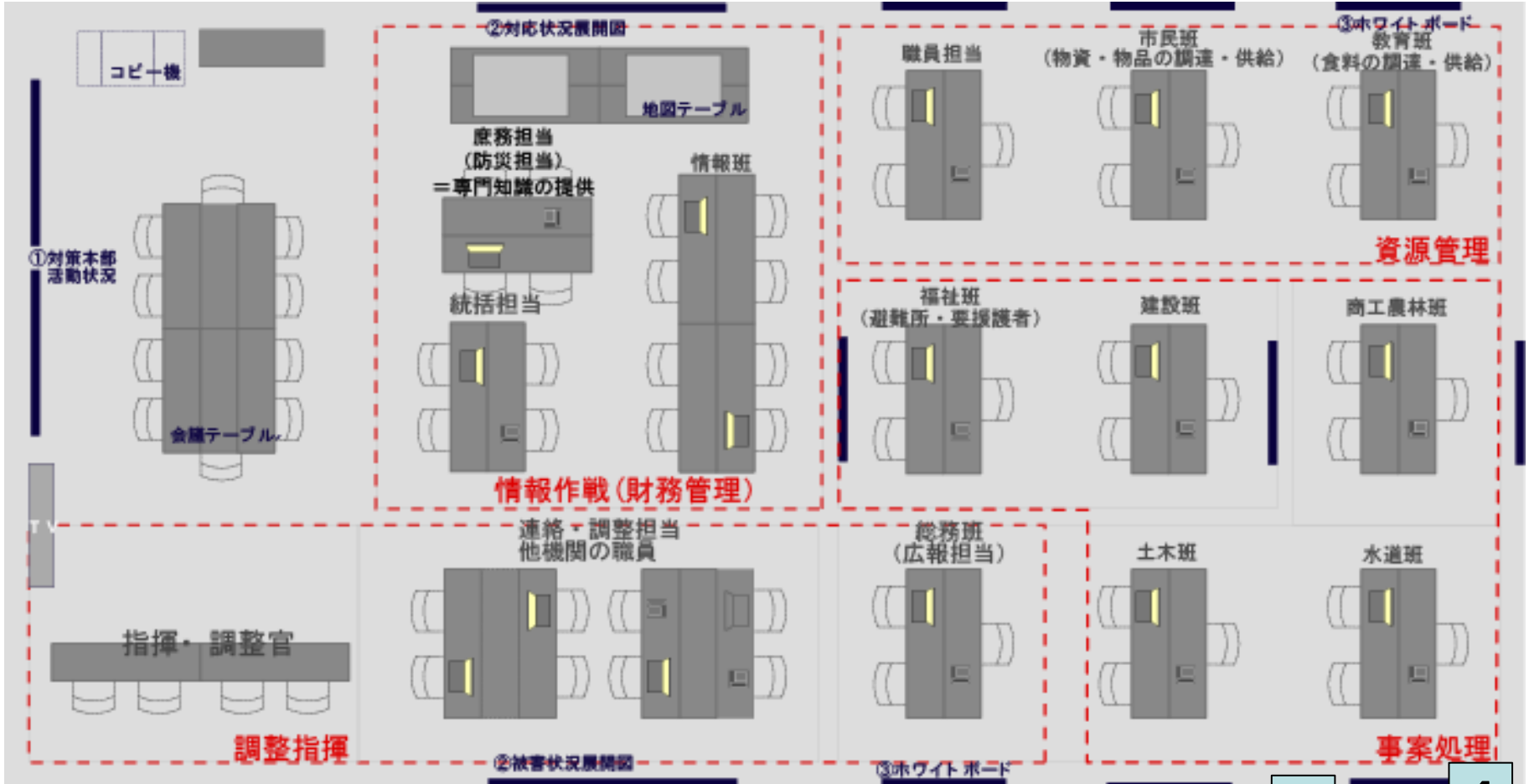
16.8m×12.6m=211.68㎡

災害対策本部

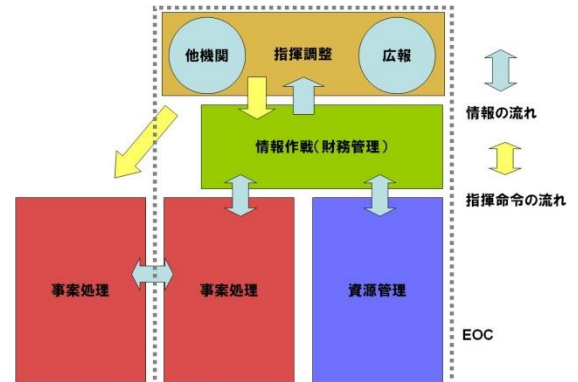
輪島市災害対策本部



**市町村では大会議室を転用して
災害対応センターを設置**



標準的な災害対応センター



標準的な災害対策本部のレイアウト

県、政令指定都市の災害対策 本部のあり方

基本的な考え方

- **災害対応に関わる関係部局、機関が同じ部屋で執務する事により、自動的に情報共有を図る。→大部屋型、災害対策本部会議室ではない。**
- **災害対応の「機能」毎にレイアウトする。**
- **災害対策本部の階層**
 - EOC (Emergency Management Center) とDOC (Department Operation Center)、ICP (Incident Command Post)
- **統合指揮(Unified Command)**

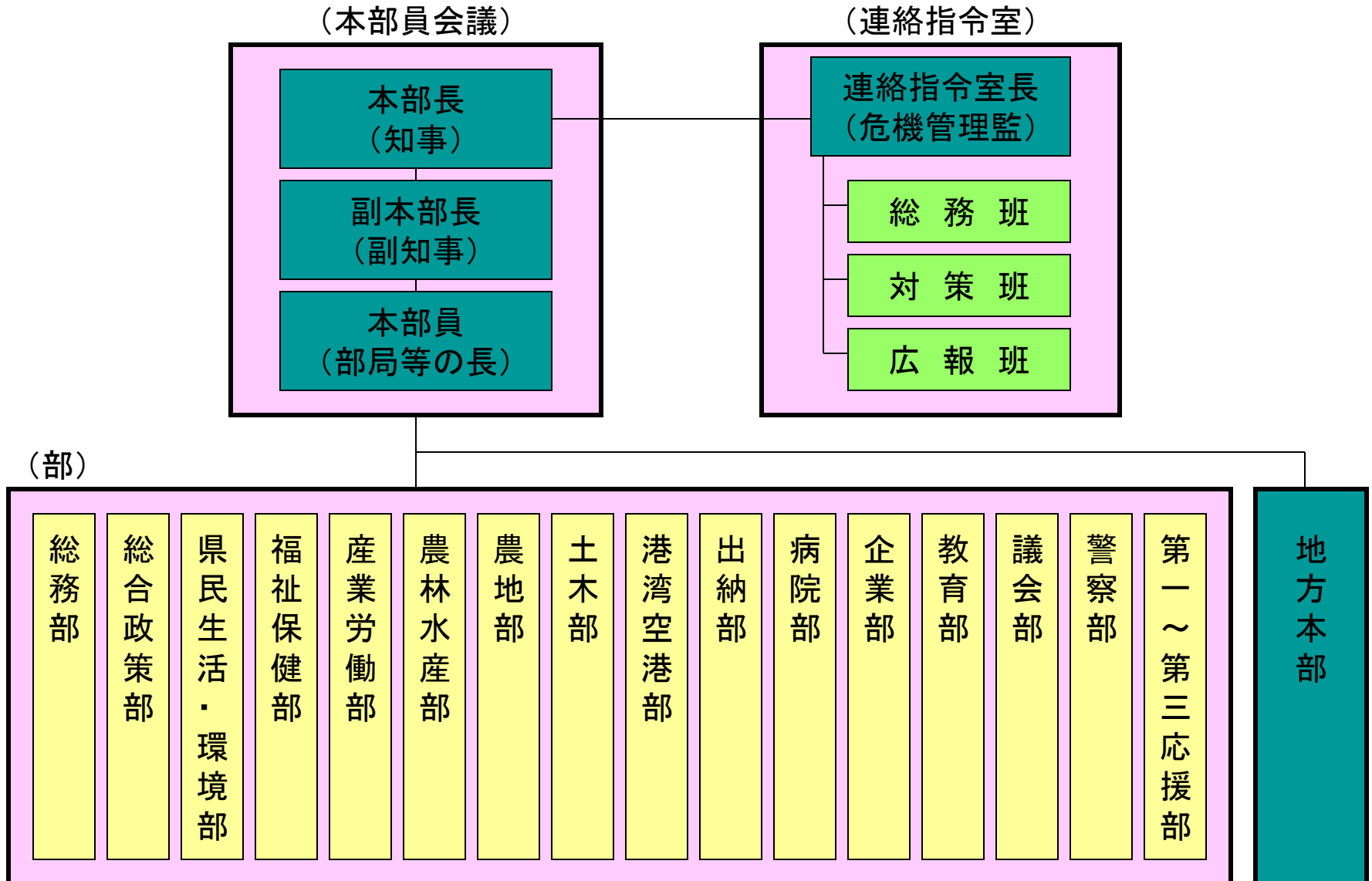
災害対応に関わる関係部局、機関が 同じ部屋で執務する



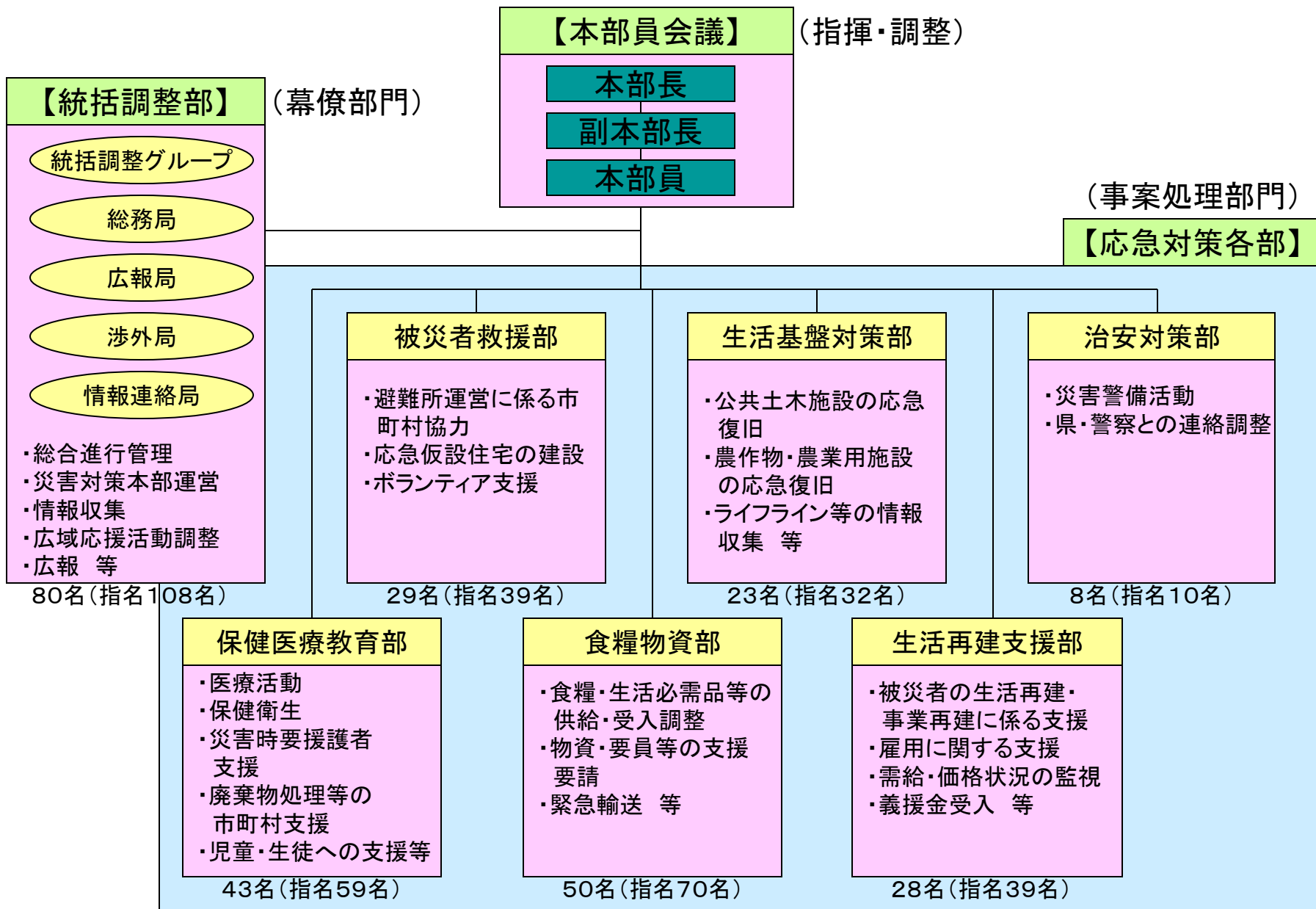
基本的な考え方

- 災害対応に関わる関係部局、機関が同じ部屋で執務する事により、自動的に情報共有を図る。→大部屋型、災害対策本部会議室ではない。
- 災害対応の「機能」毎にレイアウトする。
- 災害対策本部の階層
 - EOC (Emergency Management Center) とDOC (Department Operation Center)、ICP (Incident Command Post)
- 統合指揮(Unified Command)

中越大震災時の新潟県災害対策本部組織図

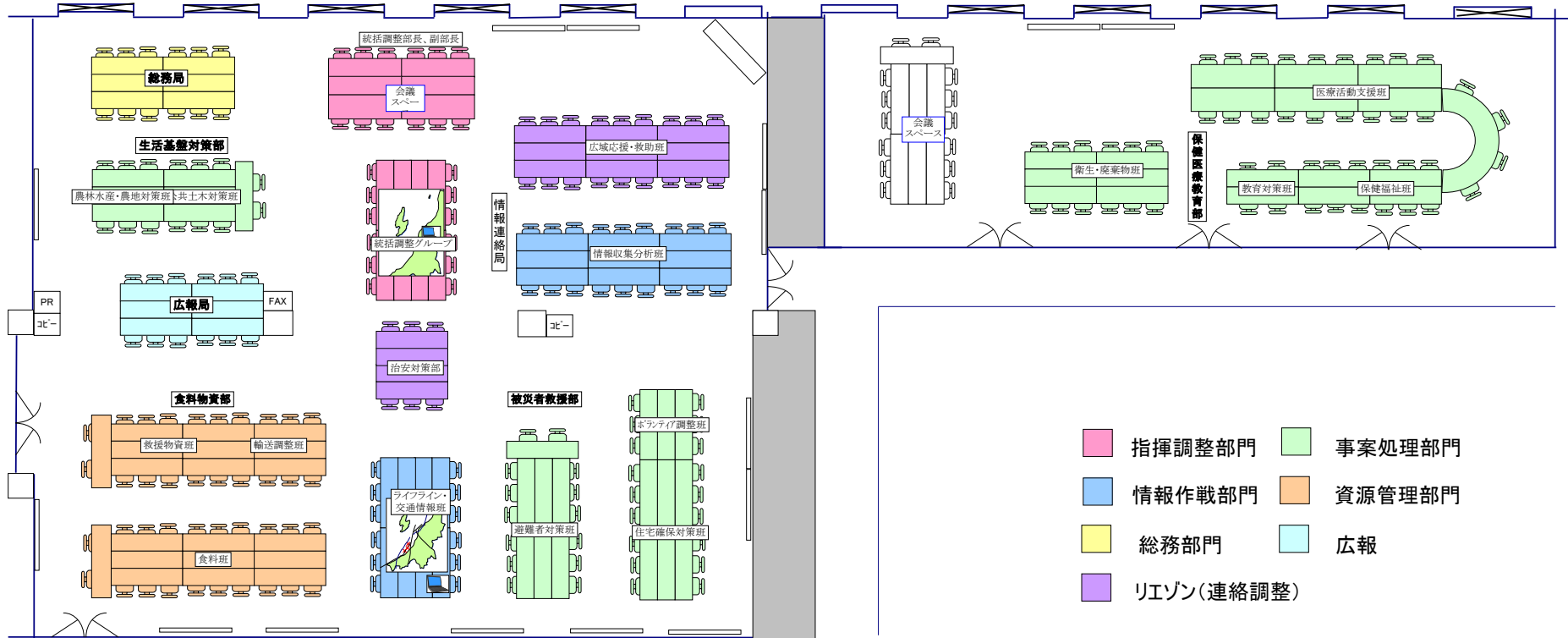


新体制の県災害対策本部組織図



新潟県災害対策本部室配置計画図 (ICSの機能別に色分け)

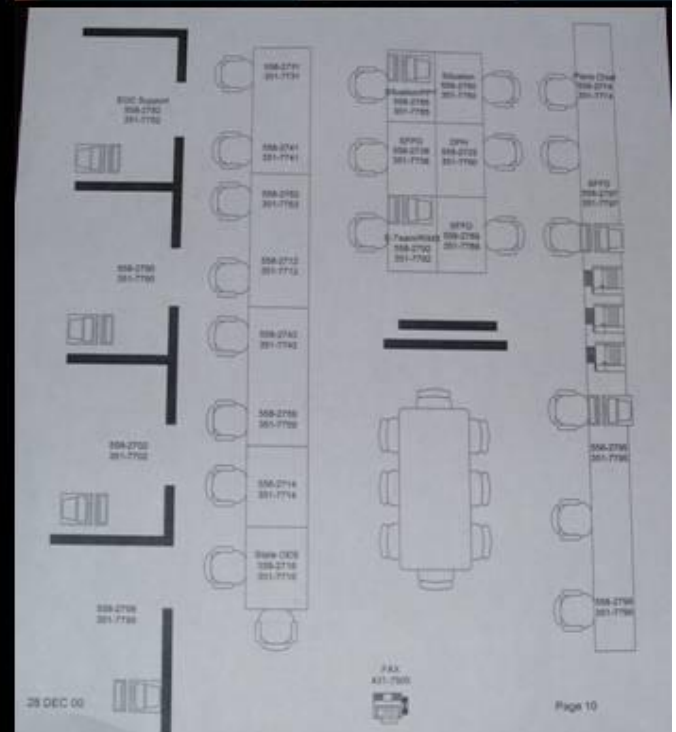
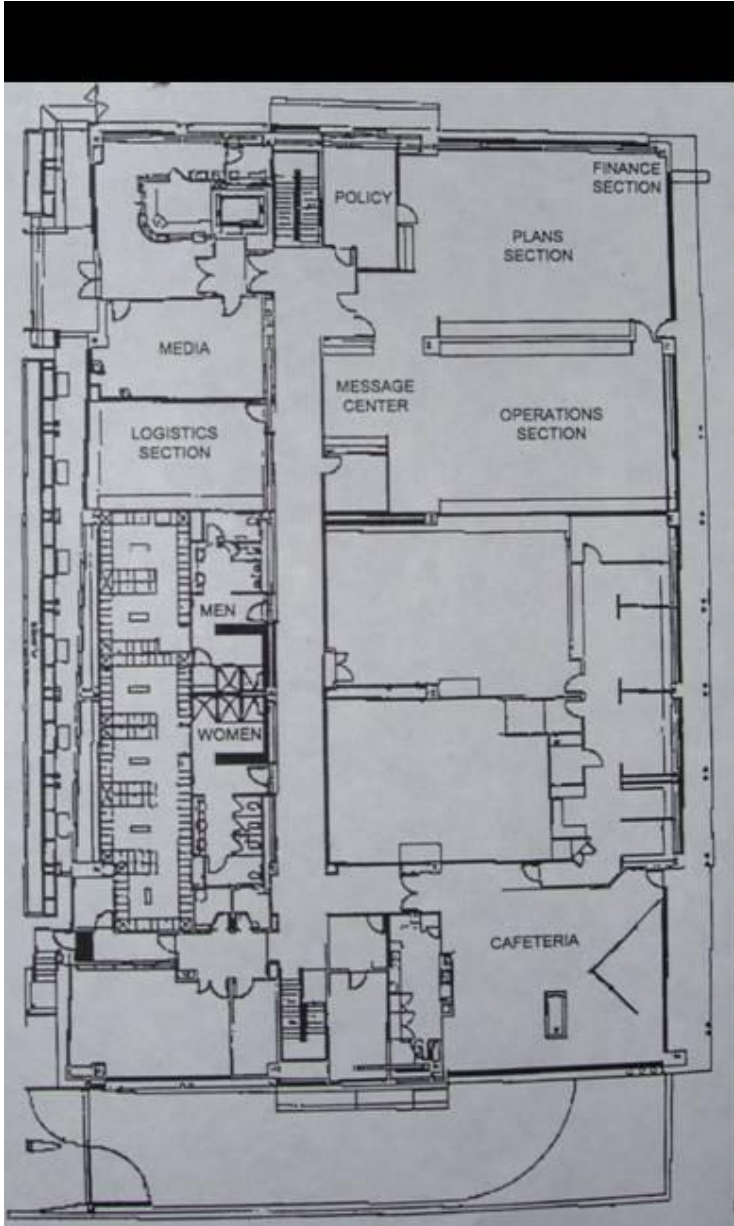
災害対策本部レイアウト図



基本的な考え方

- 災害対応に関わる関係部局、機関が同じ部屋で執務する事により、自動的に情報共有を図る。
- 災害対応の「機能」毎にレイアウトする。→災害対応組織の見直しが必要
- **災害対策本部の階層**
 - EOC (Emergency Management Center) とDOC (Department Operation Center)、ICP (Incident Command Post)
 - 各部局の体制、市町村も含めた標準化が必要
- **統合指揮(Unified Command)**

City of San Francisco

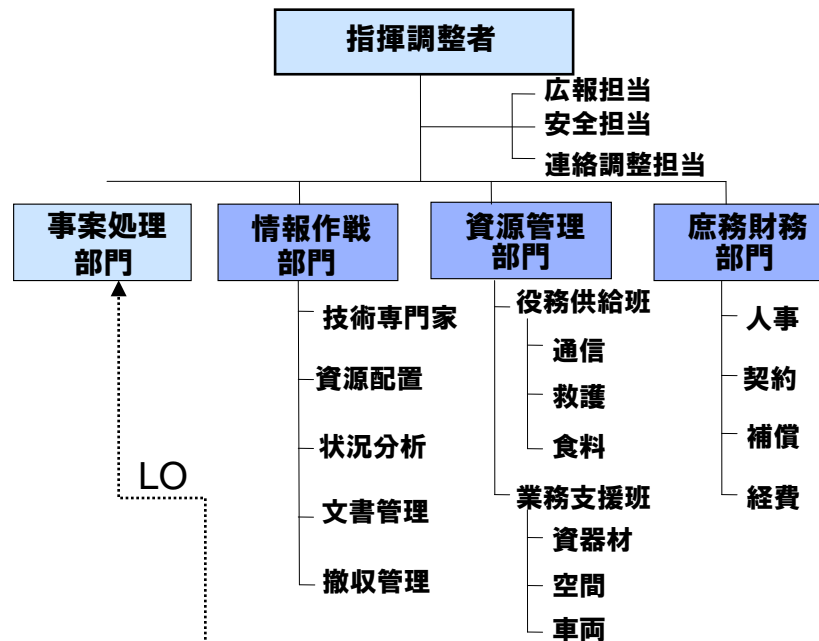


災害対策本部の階層性

EOC

レベル3：
全庁対応

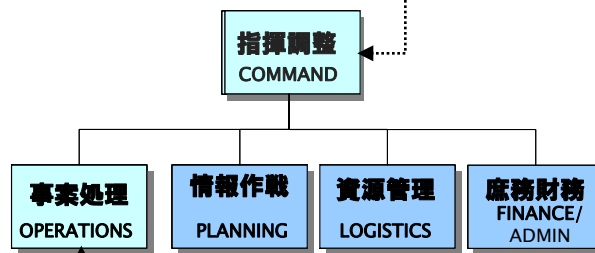
《戦略決定》：総合調整
活動方針・資源配分



DOC

レベル2：
部局対応

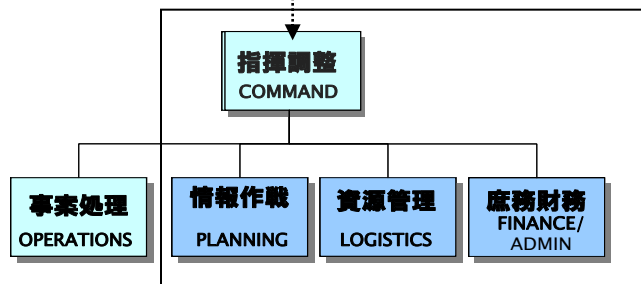
《戦術決定》：調整・段取り
与えられた資源での目的達成法



ICP

レベル1：
現場対応

《課題解決》：工夫
任務遂行・攻め口



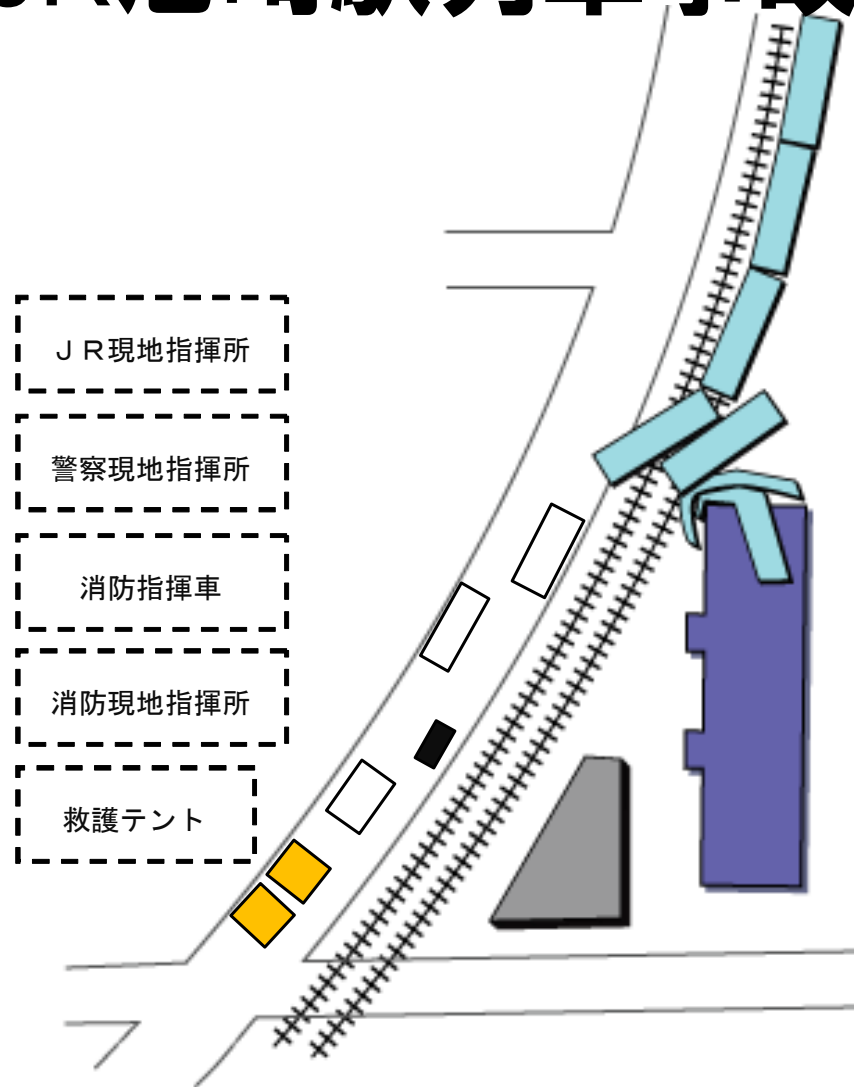
ひとりで兼務

基本的な考え方

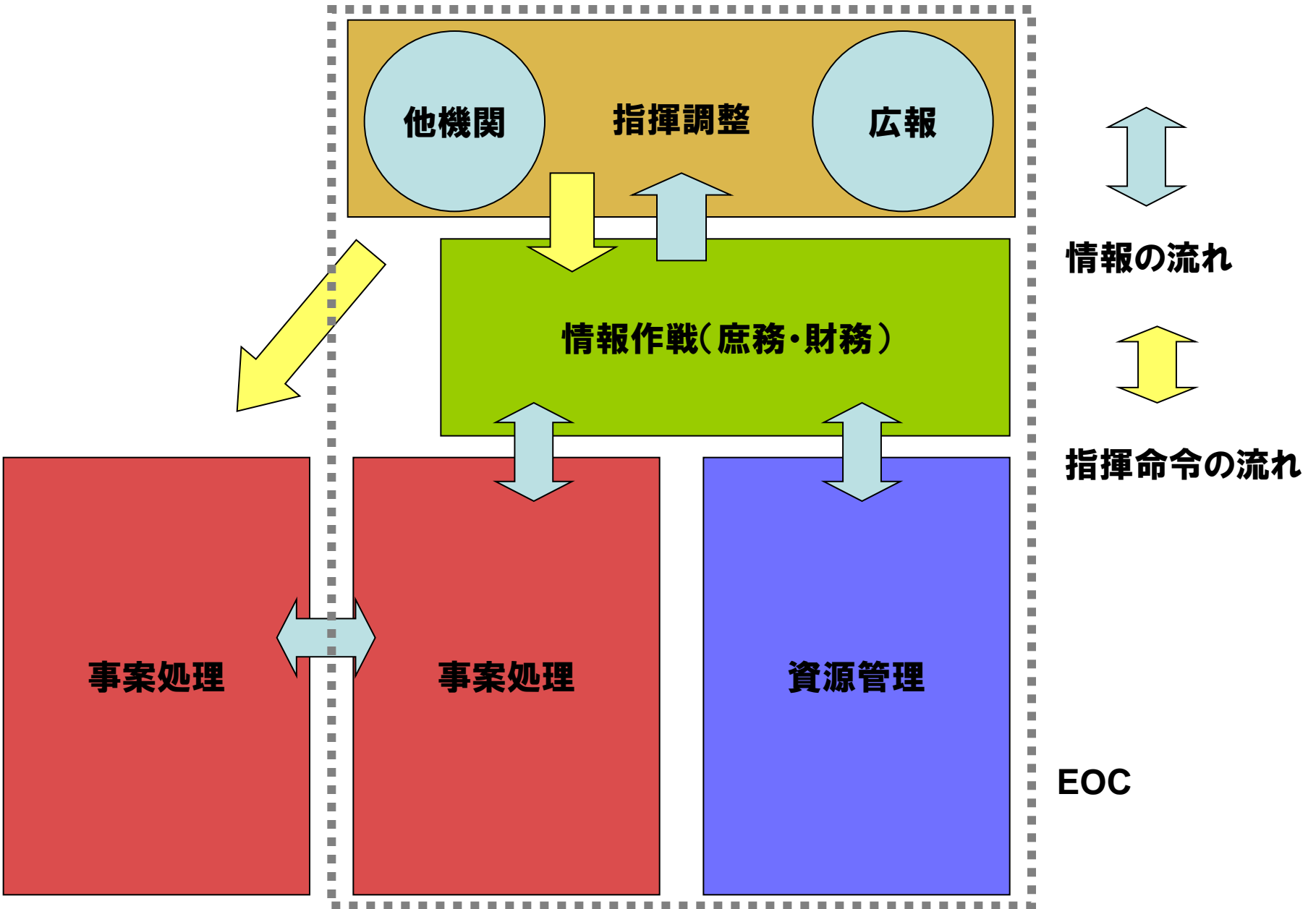
- **災害対応に関わる関係部局、機関が同じ部屋で執務する事により、自動的に情報共有を図る。**
- **災害対応の「機能」毎にレイアウトする。→災害対応組織の見直しが必要**
- **災害対策本部の階層**
 - EOC (Emergency Management Center) とDOC (Department Operation Center)、ICP (Incident Command Post)
 - 各部局の体制、市町村も含めた標準化が必要
- **統合指揮(Unified Command)**
 - 重要な課題、ハリケーンカトリナ災害では有効に機能
 - 神戸市は、EOCと消防指令が合築

統合指揮(Unified Command)

JR尼崎駅列車事故



標準的な災害対応センター



演習の進め方

- 事例とする県市町村を決める
- 災害対策本部の班を
 - 指揮調整、事案処理、参謀機能「情報作戦、資源管理、庶務財務」に分類する
- 分類結果を図のようにならべる

